

第31回日本受精着床学会

2013.08.08-09 大分

移植方法別の妊娠率及び流産率の比較

田中智子、佃笑美、佐藤学、赤松芳恵、橋本周、前沢忠志、姫野隆雄、大西洋子、井上朋子、伊藤啓二郎、中岡義晴、森本義晴

IVF なんばクリニック

【目的】

近年晩婚化に伴い ART 治療の年齢が上昇し、妊娠率低下・流産率増加している。そこで、移植方法別の妊娠率及び流産率を比較し、最適な移植時期が決定できないか検討した。

【対象及び方法】

2009～2011年に当院で体外受精を受けた3638周期を対象に移植方法別の妊娠率及び流産率を年齢別に比較検討した。

【結果】

29歳以下での妊娠率は Day2 : 14.8%、Day3 : 40.3%、Day5:70.0%、Day6:39.3%、30-34歳でそれぞれ 29.8%、36.9%、62.6%、47.7%、35-39歳でそれぞれ 25.7%、29.8%、51.7%、46.0%、40-42歳でそれぞれ 14.7%、16.9%、41.1%、32.4%、43歳以上でそれぞれ 1.4%、4.6%、29.0%、9.1%で、各年齢群において Day2・Day3 移植に比べ Day5 で有意に高かった。

30-34歳・35-39歳・40-42歳群においては Day2・Day3 移植に比べ Day6 で有意に高かった。

29歳以下での流産率は Day2 : 25.0%、Day3 : 20.7%、Day5:1.8%、Day6:54.5%、30-34歳でそれぞれ 28.0%、16.5%、15.4%、13.3%、35-39歳でそれぞれ 35.1%、23.8%、25.9%、26.1%、40-42歳でそれぞれ 64.3%、42.2%、39.7%、43.5%、43歳以上でそれぞれ 100.0%、60.0%、55.6%、100.0%で 29歳以下の群で Day3・Day6 に比べ Day5 で有意に低く、Day5 に比べ Day6 で有意に高かった。

【考察】

分割胚移植に比べ胚盤胞移植の妊娠率が有意に高かったが、29歳以下年齢群以外は各群に流産率に有意差は認められなかったため、胚盤胞移植が可能な患者様に対しては胚盤胞移植を推奨したい。

分割胚移植では、29歳以下年齢群以外は Day2・Day3 で妊娠率・流産率に差は無いものの、Day3の方が妊娠率が高く流産率が低い傾向があった。このことより、Day3まで培養し胚を選別することで、不良胚が淘汰され生産率向上につながると考えられた。